

情報学科 電気電子通信コース
 学習・教育到達目標を達成するために必要な授業科目の流れ(2018)

◎：必修 ○：選択

学習・教育到達目標	授業科目名							
	1年		2年		3年		4年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
(A)	◎ 教養講座 I ○ 日本の文学 I ○ 人間と教育 I	◎ 教養講座 II ○ 日本の文学 II ○ 人間と教育 II	○ 歴史学と課題 I ○ 人間と心理 I ○ 現代社会と法 I	○ 歴史学と課題 II ○ 人間と心理 II ○ 現代社会と法 II	○ 政治学 I ○ 哲学の出発点 ○ 現代の社会と経済 I	○ 日本国憲法 ○ 政治学 II ○ 哲学的人間観 ○ 現代の社会と経済 II		
	◎ 英語 I ◎ 情報処理基礎	◎ 英語 II	◎ 英語 III	◎ 英語 IV	○ 選択外国語 I ○ ドイツ語 I ○ 中国語 I	○ 選択外国語 II ○ ドイツ語 II ○ 中国語 II	○ ドイツ語 III ○ 中国語 III	○ ドイツ語 IV ○ 中国語 IV
(B)	◎ 生涯スポーツ教育 I ○ 環境科学 I	◎ 生涯スポーツ教育 II ○ 健康・スポーツ科学理論 ○ 環境科学 II			○ 技術者倫理 (b)			◎ 卒業研究
(C)	◎ 基礎数学 ○ 微分積分学 I ○ 基礎物理学 ○ 化学 I	○ 微分積分学 II ○ 物理学 ◎ 基礎電気数学 ○ メディア数学	○ 線形代数学 I ○ 物理学実験 ○ 確率・統計 ○ 離散数学	○ 線形代数学 II ○ 微分方程式	○ 数学の世界			◎ 卒業研究
	◎ コンピュータ基礎 ○ 情報特別講義 I ○ マルチメディア基礎 ◎ 電気回路入門 ○ 電磁気学入門	◎ 基本プログラミング演習 ○ 電気回路 I ○ 電磁気学 I ○ ものつくり教室	○ デバイス制作入門 ○ 情報工学基礎実験	○ 情報と職業 ○ 情報理論 ○ データ構造とアルゴリズム ○ デバイス制作演習	○ 情報セキュリティ ○ 情報特別講義 II	○ 情報特別講義 III		
(D2)			○ 応用電気数学 ◎ 電子回路 I ◎ 電気回路 II ◎ 電磁気学 II ◎ 電子情報基礎実験	◎ 電子回路 II ◎ 電気回路 II ◎ 電磁気学 II ◎ 電子情報基礎実験 ○ デジタル信号処理 ○ デジタル回路 ○ ロボット工学基礎	◎ 情報通信実験 ○ 電子通信計測 ○ 情報通信工学 I ○ 通信工学演習 ○ 制御工学 ○ 材料物性工学	◎ 情報通信実験 ○ 情報通信工学 II ○ 電磁波工学 ○ 伝送工学 ○ 通信法規 ○ 電子デバイス工学 ○ ロボティクス実験		◎ 卒業研究
(E)	○ ベンチャー起業論 I ◎ 生涯スポーツ教育 I	○ ベンチャー起業論 II ◎ 生涯スポーツ教育 II	○ イノベーション論 I	○ イノベーション論 II				◎ 卒業研究
(F)	◎ キャリア基礎 I	◎ 基礎日本語	◎ キャリア実践 I	◎ キャリア基礎 II ◎ キャリア実践 II	◎ キャリア基礎 III			◎ 卒業研究

情報学科 ソフトウェアサイエンスコース データインテリジェンスコース

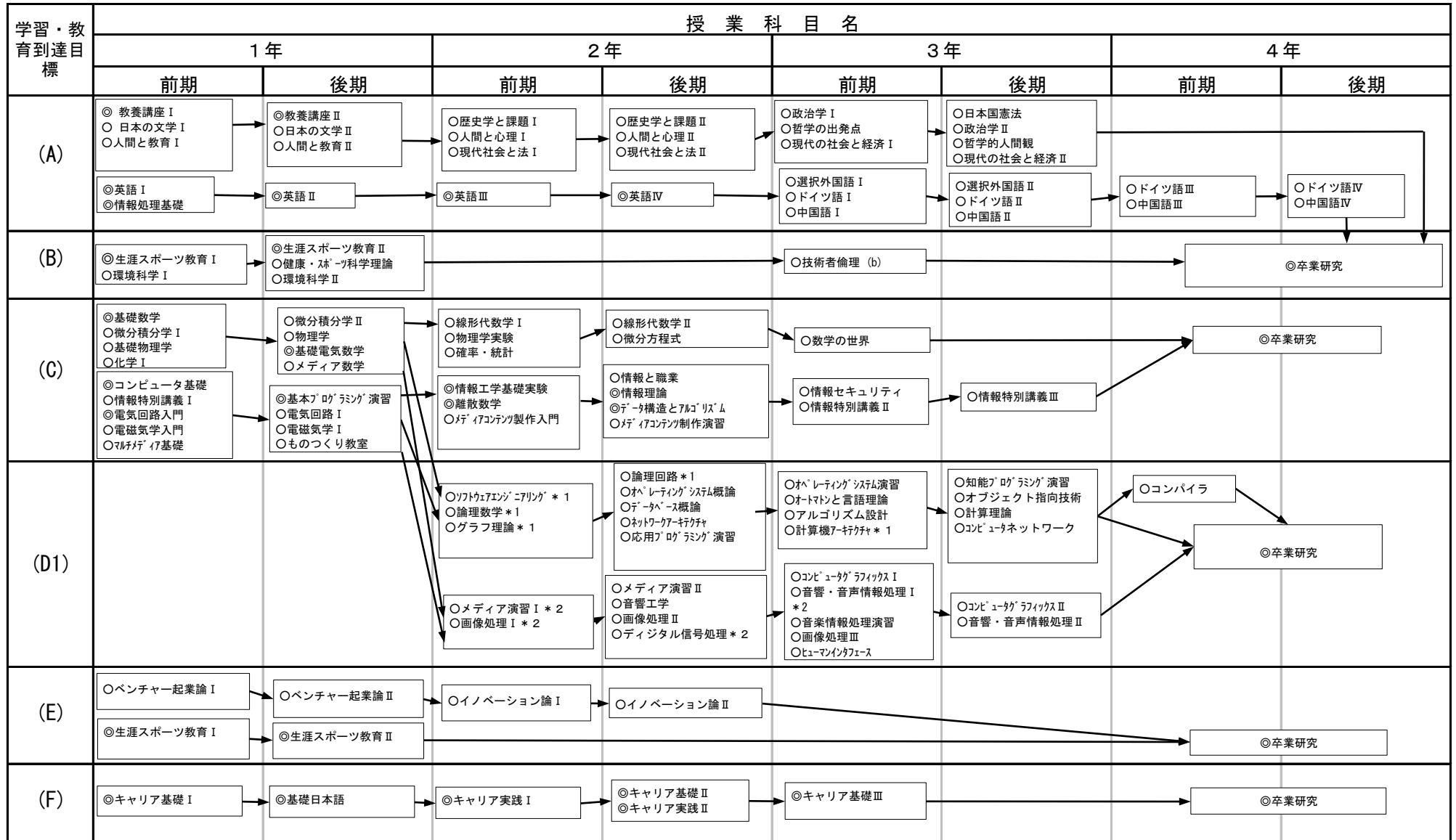
学習・教育到達目標を達成するために必要な授業科目の流れ(2018)

◎：必修

○：選択

* 1 ソフトウェアサイエンスコース必修（他コース選択）

* 2 データインテリジェンスコース必修（他コース選択）



情報学科 学習・教育到達目標に対するカリキュラム設計方針の説明

学習・教育到達目標	カリキュラム設計方針
(A) 常に世界的な視野に立って幅広く人類の精神文化を理解し、コミュニケーション手段としての外国語と情報処理能力をを身につける。	情報処理に必要な情報リテラシーについては1年次に身につける。また、基礎学力としての語学は、1～2年次にかけて英会話を中心とした実践的教育を行い、コミュニケーション能力を養う。幅広い文化的視野並びに世界的な視野を身につけるための人間科学および他の外国語は選択科目として1～4年次に分散して開講する。
(B) 「いのちとくらし」の観点から、地球環境と人間の健康を守り、高い人間性と倫理観を身につける。	1年次では、まず人格形成の基盤となる基礎体力を身につける。また、公共の福祉に関する知識も得られるようにしている。そして3年次には技術者としての倫理観を養う。
(C) 数学、自然科学の基礎知識を修得し、情報分野に必要な基礎学力を身につける。	1、2年次ではコンピュータを中心に情報分野の基礎を学び、また数学的素養を身につけることを重点的に行う。また、高度情報社会の多種多様な問題に対応できるよう、情報セキュリティに関連する科目も開講する。
(D1) 情報分野の基礎知識と専門知識を修得し、課題発見・問題解決能力を養い、この分野の技術者として社会に貢献できるデザイン力を身につける。	専門課程の科目は、4つの分野(情報処理技術、ネットワーク技術、ソフトウェア技術、メディア情報処理技術)に渡る基礎知識と情報システムの設計開発、メディア情報の生成・加工・流通等に関する専門知識を修得できるように、講義と演習を並行して行う。また、アクティブラーニングや卒業研究を通して、課題発見や問題解決能力を養い、デザイン力を身につける。
(D2) 電気・電子・通信分野の基礎知識と専門知識を修得し、課題発見・問題解決能力を養い、この分野の技術者として社会に貢献できるデザイン力を身につける。	専門課程の科目は、4つの分野(情報通信技術、クリーンエネルギー技術、計測技術、制御技術)に渡る基礎知識と情報エレクトロニクスシステムやロボティクスシステムの設計開発に関する専門知識を修得できるように、講義と実験を並行して行う。また、アクティブラーニングや実験・卒業研究を通して、課題発見や問題解決能力を養い、デザイン力を身につける。
(E) 社会における課題解決に必要なチームワーク力と実践力、創造力を身につける。	チームワークの基礎は1年次のスポーツ科目で養われる。また、2年次の教養科目では課題解決力を育成する。それらの集大成として、4年次の卒業研究において、創造的先端的研究、または問題解決型研究の何れかに取り組むことで、チームワーク力と実践力、創造力を身につける。
(F) 自学自習の態度を養い、論理的な記述力と発表能力を身につける。	1～3年次まで開講されるキャリア科目では、自学自習の学習力と発表能力を身につける。それらの集大成として、4年次に卒業研究に取り組むことで、論理的な記述力と発表能力を養う。